

このページは、小・中学生に向けて  
梅光学院大学子ども学部子ども  
未来学科(地域共生ゼミ)の学生が  
作っています。

※イラスト 渡邊由季さん

# しものせき キッズページ



## はな えんげい 「花がいっぱい! 園芸センター」



▲四季折々の花が楽しめる園芸センター。特にこれからの季節は桜、ツツジ、バラなどたくさんの花が見頃を迎えます。

### 下関市園芸センター



下関市園芸センターは山陰本線安岡駅から徒歩15分、下関インターから車で20分の場所にあります。開園時間は午前9時〜午後4時、年中無休で入園料は無料です。もともとは市内特産の園芸作物を研究し、農業の技術を高めるために造られました。しかし、都市化が進む中で市民の憩いの場、自然と親しむ場としても利用されるようになり、「下関市園芸センター」と名前を改めました。

園芸センターには観賞用温室や熱帯果樹温室、花木類やバラ園、



気象の影響で今年は椿の開花が1カ月くらい遅れており、そのおかげで4月まで椿を楽しむことができます。椿の品種の「ミス・ティングレー」「金魚椿」の他、メジロやツグミの訪れを待っている梅もきれいに咲いています。「まんさく」(左写真)などの花もぜひ楽しんでください。

### 椿と梅



盆栽コーナーがあります。観賞用温室には40種類、1000本の熱帯植物が植えられています。熱帯果樹温室ではバナナ、パイナップルをはじめ、あまり知られていない果物など30種100本の熱帯果樹が見られます。花木類では椿、梅、ツツジなど20種420本、春にはバラ園で300種1200株のバラが見られます。季節によりさまざまな花や植物が見られるので、子どもからお年寄りまで楽しめる施設です。いろいろな展示会や講習会もあり、地域に親しまれています。

### 4月のイベント



4月には、ゼラニウム展があります。花の色や形もさまざまなゼラニウムを見ることが出来ます。近年人気の花の大きな八重咲きの豪華な品種や、昭和初期に流行した古典品種などを展示しています。4月から5月にかけては、春の鉢植えや寄せ植え作品の展示の他、満開のツツジやその甘い匂いに誘われてやってくる虫たちにも出会えるかもしれません。春の草木や虫たちに会いに、園芸センターを訪れてみませんか。

### 園芸センターの展示

- ①ゼラニウム展 Ⅱ色鮮やかなゼラニウム 約200点 / 4月5日〜14日
- ②春を彩る寄せ植えたち Ⅱ春の草花を使った寄せ植え作品 約100点 / 4月19日〜29日
- ③春の山野草展 Ⅱ山野草の寄せ植えなど 約100点 / 4月27日〜29日

園芸センター  
( ☎ 258-0147 )



4月号の編集記者(左から)  
布施 薫さん、友寄 柚さん



▲「春を彩る寄せ植えたち」の作品。自分だけのオリジナル寄せ植えを作りませんか。



▲アメリカーナという品種。ゼラニウム展では、かわいい花々が皆さんを迎えてくれます。